

1	審議会名	武石地域協議会
2	日時	平成24年6月14日 午後7時00分から午後9時10分まで
3	会場	武石地域自治センター 第1会議室
4	出席者	飯田秀範委員、上野正司委員、大沢春樹委員、柿畷勲委員、金子隆博委員、 児島八重子委員、塩之入安男委員、滝澤由美子委員、竹内明美委員、竹内利通委員、 中嶋三津子委員、成田英雄委員、樋沢一幸委員、樋澤みどり委員、森美由樹委員、 柳沢裕子委員 【欠席委員】4名
5	市側出席者	(政策企画局) 岡田市民参加・協働推進参事、樋口市民参加・協働推進課長 伊藤地域自治センター長、木藤地域振興課長、牛山市民生活課長、 児玉産業観光課長兼建設課長、北沢健康福祉課長、掛川武石教育事務所長、 滝沢武石上下水道課長、北沢市民参加・協働推進担当係長、佐藤地域政策係長
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 1人
8	会議概要作成年月日	平成24年6月29日 作成部局課名 地域振興課地域政策係
協議事項等		
1	開会	(柳沢副会長)
2	会長あいさつ	(上野会長) 梅雨に入り、気温の差も大きくなる時期ですが、皆様には体調管理に気をつけてご活躍いただきたい。第4ステージに入り、雲溪荘の問題もある。皆様のご協力をお願いしたい。雲溪荘について、方向性は決まっていないと申し送りされているが今年中には意見をまとめたい。
3	センター長あいさつ	(伊藤センター長) (6月)12日の信濃毎日新聞に市議会の一般質問で示された内容として、路線バスの運賃を一定額とし、来年10月から実証運行を始めるという内容の記事が掲載された。遠距離でも乗りやすいように運賃を一定額にして集客を図り、路線も見直すという事例を紹介した。予算を増やすのではなく逆に予算減につながるという事例。この構想には武石も含まれていて、審議会を経ることになる。本日は今後の協議会の進め方についての協議、地域内分権に向けた取り組みについて本庁担当課から説明がある。お疲れのところ盛り沢山の会議事項があるがよろしく願いたい。
4	協議事項	(1) 今後の協議会の進め方について (会長) 雲溪荘、オフトーク、公園化構想等あるが、他に取り組みたい内容はあるか。 【質疑・意見等】 ・なし (会長) では、進め方について、ひとつの問題に皆で取り組んで行くのが良いか、少人数制にして意見を出し合った後集約する方法が良いか。 (委員) 雲溪荘については行政の期限を考えれば、あと3回の会議で決めなければならない。忙しいものについて1点に絞ってとにかくやらなければならないのではないかと。 (会長) 3年位前の協議会では、小委員会を作ってそれぞれ協議した経過はある。話がまとまらないときはその小委員会ごとに定例会以外に臨時に会議を開いたこともある。委員会制にしたかどうかを考えている。 (委員) 小さく分ける必要はないのではないかと。優先課題を中心に皆で議論すべきだ。よい意見があれば自分はすぐに賛成する。それで良いのではないかと。 (委員) 雲溪荘の存続、廃止の期限はいつまでなのかあらためて伺いたい。 (センター長) 指定管理委託が平成26年3月までというのは決まっている。また、設備の老朽化への対応も考えれば、予算編成時期の9月頃と期限は決まってくる。 (委員) 議会の一般質問で雲溪荘について出ていたが、どのように回答したのか。

(センター長) 協議会の進展状況とどういった意見が出されたかについて聞かれたのでありのまま回答した。

(会長) その他に意見などありますか。

では、協議会の進め方については、雲溪荘に絞って全員で集中して、来月7月から9月までの3回の協議会で検討して行くというやりかたでよいか。その他の問題については9月以降に協議して行くということでしょうか。

・反対意見なく全員了承

5 報告事項

(1) 「地域内分権確立に向けた第4ステージ」の今後の取組について

～市民参加・協働推進課の出席者の自己紹介後、説明～

(会長) わかりやすく説明いただいた。意見、質問がある方はお願いしたい。

(委員) 私たちは民間のところで生きているので分からないことがある。地域協議会は意見を述べるとあるが、言いつばなしと考えていいのか。それとも意見をまとめると考えるのか。諮問が要望か、定義をまずきちんとしていただきたい。

(市民参加・協働推進参事) 地域協議会はひとつには諮問する機関となっている。自ら意見を述べるものとなっている。協議会として1つの意見をまとめていただきたい。

(委員) 前の意見に同感である。雲溪荘について、現時点では住民説明会もしたが、参加者86人をどうとらえてどうまとめればいいのか。協議会では前回の意見としては「前向きに」と言うことになった。それだけ言えばいいのか。あまり深くまで追求すると1人の委員が責められることもある。

(センター長) 今は第4ステージについての質疑だが、協議会の進め方についてと住民説明会についての協議事項が混じってしまった。確かに切り離せないことだと思う。地域経営会議はすぐには運営できない。雲溪荘の問題は差し迫っている、今ある地域協議会で、とにかく話を進めていってもらわなければならないと考えている。

(委員) 意見を言ったって行政が決めるなら、意味がないのではないか。

(センター長) 協議会の意見は重視したうえで行政が決定をする。

(委員) 議会制民主主義と直接民主主義の間だと思う。構想は良いと思う。でも議員の立場はどうなるのか。協議会で予算を決めたら議員はどうするのか。好きなだけ予算を要求したら、結局はけんかの世界になる。雲溪荘だって、予算を要求すれば取れることになる。本当にそれでいいのか。

(市民参加・協働推進参事) 予算については法律で決められているので、最終的には市長が議会にかけて審議を経たうえで決める。最終的には議会に決定権がある。地域協議会は地域の意見をまとめて市にあげる、ということで、市政に参加という立場になる。ただ、行政につながるだけでなく、地域としてもできることはないか。今まではその実行部隊というものがなかった。それを地域経営会議に位置付けている。最終的には住民自治組織も考えている。

(委員) 皆さんが考える住民が、どれだけ政治に関心を持っているか。参加できる人がどれだけいるか。短い期間にそれをやらなければならないというのは大変なことだ。

(委員) 武石の声が届けられることは大切なこと。武石の人たちが住み続けていきたいと思うためには、言いつばなしでいいのか。

(市民参加・協働推進参事) できるだけわかりやすい資料を作りたいとは考えている。今回の資料は行政内部で作ったもの。今日は最初の会議で、よくわからなかった方もいるかと思う。またお呼びいただければ説明に来ます。

(2) 平成24年度武石地域自治センターの重点目標について

【事務局から説明】

【質疑・意見等】

・なし

(3) 平成24年度武石地域の主な予算について

【事務局から説明】

【質疑・意見等】

・なし

6 その他

(1) 上田市地域協議会正副会長会の結果報告について

(会長) 上田市地域協議会正副会長会が5月28日、上田創造館で行われた。柳沢副会長、事務局の木藤課長の3名が出席した。正副会長会長には宮下智夫氏(上田中央)、副会長には斎藤重一郎氏(丸子)が選出された。わがまち魅力アップ応援事業についての採択状況の報告や過去4年間の実績や成果を踏まえて制度の見直しを行うなどの説明があった。また、地域内分権の確立に向けた今後の取組に対する意見などについて、4月18日の委嘱式の時に説明があったが不十分だったということで各地域協議会へ説明に伺うことになった。これについては先程、市民参加・協働推進課に説明いただいた。

何か質問等ありますか。

【質疑・意見等】

・なし

(2) 武石地域住民説明会で出された意見について

～住民説明会で出された「質問・意見交換」の概要、「意見・要望提案用紙」の内容一覧を会議に先立ち事前に送付し、質疑、意見を聴取～

(会長) 先日事務局より説明会の概要をいただいたが、これについて何かありますか。

～雲溪荘問題を中心に自由意見多数～

(委員) これからの会議で当面する問題について住民の代表としてしっかり考えていきたい。雲溪荘は基金を使ってでも残していきたい。

(委員) 自治会へ持ち込んで議論してはどうか。

(委員) これから自治会へ意見を求めてもそのいとまはないと思う。

(委員) 一企業としてもう少し営業努力をすれば良い。

(委員) 住民が、じゃあ、行ってみるかという施設に一。皆が行きたがる施設になれば一。

(委員) 若い世代は雲溪荘を使わない。雲溪荘に魅力を感じない。今後は若い世代にも魅力を感じる施設にしないと広く集客できないと思う。

(委員) 今回半分委員が入れ替わっている。雲溪荘協議は時間がないので、次回協議においては1期目委員でも理解できる資料を用意して会議を進められたい。また、一昨年度、当時の開発公社が実施した雲溪荘の経営改善等指導報告書を参考資料として委員全員に配布願えないものか。

(会長) 資料については、今言われたものを用意して行く。その他に意見などありますか。では、雲溪荘については本日の協議事項で決定したとおりに来月から協議を進めていきたい。

(3) 平成24年度土砂災害に対する防災訓練の実施について

【事務局から説明】

【質疑・意見等】

・なし

(4) 次回会議の日程等について

・協議の結果、7月18日水曜日、午後7時から9時と決定する。

(5) その他

～事務局からの事項はなし～

(委員) 子どもたちの給食における給食食材の放射性物質の測定は行われているのか。

(事務局) 肉・魚、野菜などすべてのものについて実施しているか否かは、学校教育課へ確認して次回の協議会で回答するか、ご質問委員に個別にお返事します。

=事務局から翌日、下記内容で回答=

【給食食材の放射性物質の結果は、県で行っており、市や県のホームページで公表(HPから抜粋してFAX送信)している。なお、武石小学校では7月の授業参観日にPATの皆さんに測定状況を話する予定。】

7 閉会(柳沢副会長)